

## Cコンパイラパッケージ M3T-NC308WAおよびM3T-NC30WA ご使用上のお願い

M16Cファミリ用CコンパイラパッケージM3T-NC308WAおよびM3T-NC30WAの使用上の注意事項を連絡します。

- ロードモジュールコンバータ (lmc308およびlmc30) オプション"-F"を使用して生成される機械語ファイルについて

### 1. 該当製品

M32C/90, M32C/80, M16C/80, および M16C/70シリーズ用:  
M3T-NC308WA V.3.00 Release 1 ~ V.5.20 Release 02

M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10, M16C/Tiny, および R8C/Tinyシリーズ用:  
M3T-NC30WA V.4.00 Release 1 ~ V.5.30 Release 02

### 2. 内容

IDコード(\*)を機械語ファイルに出力する場合、コードが重複して機械語ファイルに出力される場合があります。

- \* フラッシュメモリ内蔵マイコンのフラッシュメモリの書き換えを制限する IDコードチェック機能を使用するためのコードです。IDコードには任意の値を使用できます。IDコードチェック機能の詳細は各マイコンのハードウェアマニュアルを参照してください。

#### 2.1 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) IDコード設定アドレスにコードが存在せず、この直後のアドレスをアセンブラ指示命令".ORG"でセクションの開始アドレスとして定義している。

- (2) 次のいずれかの方法でIDコードを出力している。
- (a) lmc308またはlmc30オプション"-ID"を使用している。
  - (b) アセンブラ指示命令".ID"を使用し、かつ該当製品のバージョンが以下である。
    - M3T-NC308WA V.5.20 Release 1
    - M3T-NC30WA V.5.20 Release 1 ~ V.5.30 Release 1
- (3) lmc308またはlmc30オプション"-F"のパラメータとして、データを書き込む領域の開始アドレスもしくは開始アドレスおよび終了アドレスを指定せず、空領域に書き込むデータ値のみを指定している。

## 2.2 発生例

アセンブリ言語ソースファイル例：

IDコード設定アドレス"0FFFFBH"の次の"0FFFFCH"をセクションfvectorの開始アドレスとしてアセンブラ指示命令".ORG"で定義している。

```
-----
-----
.section    vector,ROMDATA ; variable vector table
.org       0FFEDCH
.lword     dummy_int      ; vector 0
          ;
.lword     dummy_int      ; vector 63

.section    fvector,ROMDATA ; fixed vector table
.org       0FFFFCH
.lword     start
.end
-----
-----
```

lmc30の起動例：

オプション-IDを使用してIDコードとして"11223344556677"を指定している。

```
-----
-----
> lmc30 -ID#11223344556677 -F OFF sample.x30
-----
-----
```

機械語ファイルの出力結果：

本発生例では、3行目全体が間違って機械語ファイルに出力されることにより FFFFBH番地に出力されるIDコード(77H)が3行目と4行目に重複して出力されている。

行番号： 機械語コード

```
-----  
-----  
1: S2140FFFD4FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF11FFFFFFFF22E4  
2: S2140FFFE4FFFFFFFFFFFFFFFF33FFFFFFFF44FFFFFFFF553A  
3: S2050FFFFB777A  
4: S20C0FFF4FFFFFFFF66FFFFFFFF771A  
5: S2080FFFFC00800FFF5F  
6: S804000000FB  
-----  
-----
```

### 2.3 回避策

IDコードを機械語ファイルに出力する場合に、lmc308およびlmc30オプション "-F" で空き領域にデータを書き込む際には、開始アドレスもしくは、開始アドレスおよび終了アドレスを必ず指定してください。

コマンドオプション-IDを使用する場合のlmc30起動例：

```
-----  
-----  
>lmc30 -ID#11223344556677 -F 0FF:0F8000:0FFFFFF  
sample.x30  
-----  
-----
```

指示命令.IDを使用している場合のlmc30起動例：

```
-----  
-----  
>lmc30 -F 0FF:0F8000:0FFFFFF sample.x30  
-----  
-----
```

### 3. 恒久対策

本内容は、次期バージョンで改修する予定です。

---

**【免責事項】**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.